

〈問い合わせ先〉
第七管区海上保安本部
海洋情報部監理課長 酒井
093-321-2931(内線:2510)



第七管区海上保安本部
平成 25年 5月 30日

海洋台帳に利用者が持つデータを表示できるようになりました！

海上保安庁が運用している「海洋台帳」は、昨年5月18日に公開以来1年を迎えますが、この度、船舶通航量に関する詳細情報、波浪統計情報、水路測量特級区域情報()を追加するとともに、利用者が持つデータを表示できるようになりました。

「海洋台帳」は、海洋空間利用の促進を目的に、利用者が各海域の状況を迅速・的確に把握するためのツールとして、内閣官房の総合調整の下に政府一体として構築されたインターネット上のGIS(地理情報システム)サービスです。
昨年5月の公開以来一年を迎えますが、これまでに延べ約300万件のアクセスがありました。

この度、公開1周年を機に、利用者が保有する独自データを海洋台帳上に自由に重ねて表示保存できる機能を追加



ユーザーが持つ独自データ

・ヨットレースのコース

～対応可能なフォーマット～



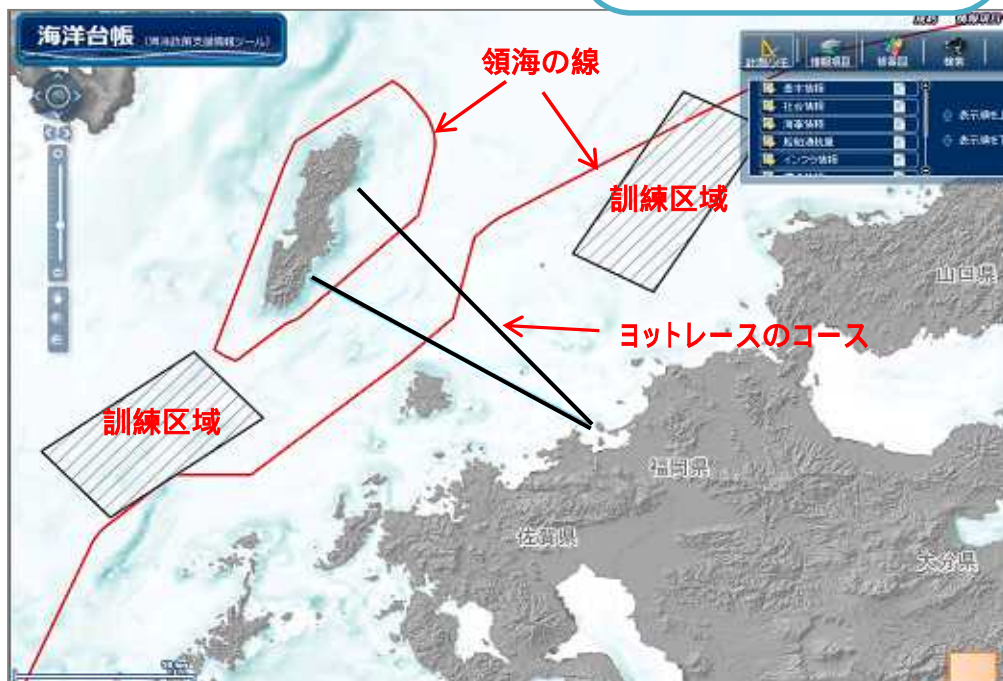
KML



Excel



csv,txt



ユーザーが持つ独自データを
他の情報と重ね合わせ、検討した結果を保存！



船舶通航量に関する詳細情報（日本船籍・外国船籍の種別及び船の全長）、波浪統計情報、水路測量特級区域情報を追加するなど機能の向上を図りました



船舶通航量

緯度: 33°55'15" N ~ 33°55'30" N
経度: 130°52'45" E ~ 130°53'00" E
2011年5月

船舶通航量: 316 隻

船舶種別	
種別	数値
日本籍	1295
外国籍	1924
船籍不明	0

船舶の全長別	
種別	数値
全長100m未満	1925
全長200m未満	1172
全長200m以上	34
長さ不明	29

これにより、利用者が保有する独自データ（デジタルデータ）を「海洋台帳」に読み込むことで、データを地図上にプロットする作業が半自動化され、これらのデータを容易に地図上で表示して（重ね合わせて）参照することが可能になります。

また、新たに3項目の登録情報を追加したことにより、「海洋台帳」の登録情報は100項目になりました。

『海洋台帳URL: <http://www5.kaiho.mlit.go.jp/kaiyo/>』

重要な航路で、特に精密な測量を必要とする区域のこと。